

2026年7月30日

株式会社FJネクストホールディングス

首都圏の单身生活者 『生活事情』 アンケート第22弾

ひとり暮らしの「モビリティ事情」アンケート

- ・ 自転車への青切符導入で、約半数が“意識して乗るようになった”
- ・ 「モビリティシェアリングサービス」の利用理由
トップ3は「低コスト」「24時間利用可能」「置き場が不要」
- ・ 物件選びで、モビリティ置き場の有無は「全く重要視しない」が約半数
一方、“重要視”派も約3割と一定数存在
- ・ 一緒にドライブしたい有名人の1位「大谷翔平」さん

近年、移動手段の多様化が進み、首都圏ではカーシェアリングをはじめとする「モビリティシェアリングサービス」の需要が拡大しています。一方で、“若者のクルマ離れ”や、今年4月には自転車への交通反則通告制度（青切符）が導入されるなど、身近な“モビリティ”への注目度が高まっています。

そこで、株式会社FJネクストホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：肥田恵輔）では、首都圏在住の20代・30代の单身生活者を対象に、“モビリティ”をテーマとした調査を実施し、その利用実態や意識など、様々な角度から現在の“モビリティ事情”を探ってみました。

■ 調査概要 ■

- ◆ 調査期間：2026年6月23日～25日
- ◆ 調査方法：インターネットによる調査
（インターネット調査会社を通じてサンプリング・集計）
- ◆ 調査対象：首都圏※在住 独身・ひとり暮らしの働く20代～30代 男女400人
※1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

【調査対象】

*回答者の職業：会社員（管理職含む）、派遣社員、公務員、自営業、パート・アルバイトなど

*回答者の男女・年代比

人	20代	30代	合計（%）
男 性	100	100	200（50.0）
女 性	100	100	200（50.0）
合 計 （%）	200 （50.0）	200 （50.0）	400 （100.0）

*回答者の居住地

	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県
人	209	54	47	90
（%）	（52.3）	（13.5）	（11.8）	（22.5）

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

(株)FJネクストホールディングス 経営戦略室 担当：月岡 TEL 03-6733-7711

< 要 約 >

<質問 1> 今年 4 月に導入された自転車への交通反則通告制度（青切符）について、あなたは認知していますか？

◆“知っている”が 56.1%で過半数、20 代は「全く知らない」が約 3 割

<質問 2> 自転車への交通反則通告制度導入後、あなたの自転車への対応の変化はありましたか？

◆「少し意識して乗るようになった」が 29.7%でトップ、
約半数が“意識して乗るようになった”

<質問 3> 休日の主な移動手段は何ですか？ <複数回答（該当すべて）>

◆休日の移動手段は「公共交通機関（電車・バス）」「徒歩」が過半数

<質問 4> 「モビリティシェアリングサービス」の利用者登録について、あなたが該当する項目は？
<複数回答（該当すべて）>

◆「モビリティシェアリングサービス」に“登録している”は 16.3%にとどまる

<質問 5> あなたの「モビリティシェアリングサービス」の利用頻度はどの程度ですか。

◆利用頻度は「1 年に 1 度以下」が約 4 人に 1 人（26.2%）、
“週に 1 度以上”も約 4 人に 1 人（26.1%）

<質問 6> あなたが「モビリティシェアリングサービス」を利用する（または登録したい）主な理由は何ですか？ <複数回答（3 つ以内）>

◆利用理由トップ 3 は「低コスト」「24 時間利用可能」「置き場が不要」

<質問 7> あなたが「モビリティシェアリングサービス」を利用しない主な理由は何ですか？
<複数回答（3 つ以内）>

◆利用しない理由は「興味がない」がトップ、
次いで「公共交通機関の利用で十分」「自分で所持している」

<質問 8> 仮に、あなたが新たなマンションに引っ越しをするとした場合、物件選びの際に駐輪場や駐車場等の「モビリティ置き場」の有無を重要視しますか？

◆物件選びで、モビリティ置き場の有無は「全く重要視しない」が約半数
一方、“重要視”派も約 3 割と一定数存在

<質問 9> 免許証は持っていますか？

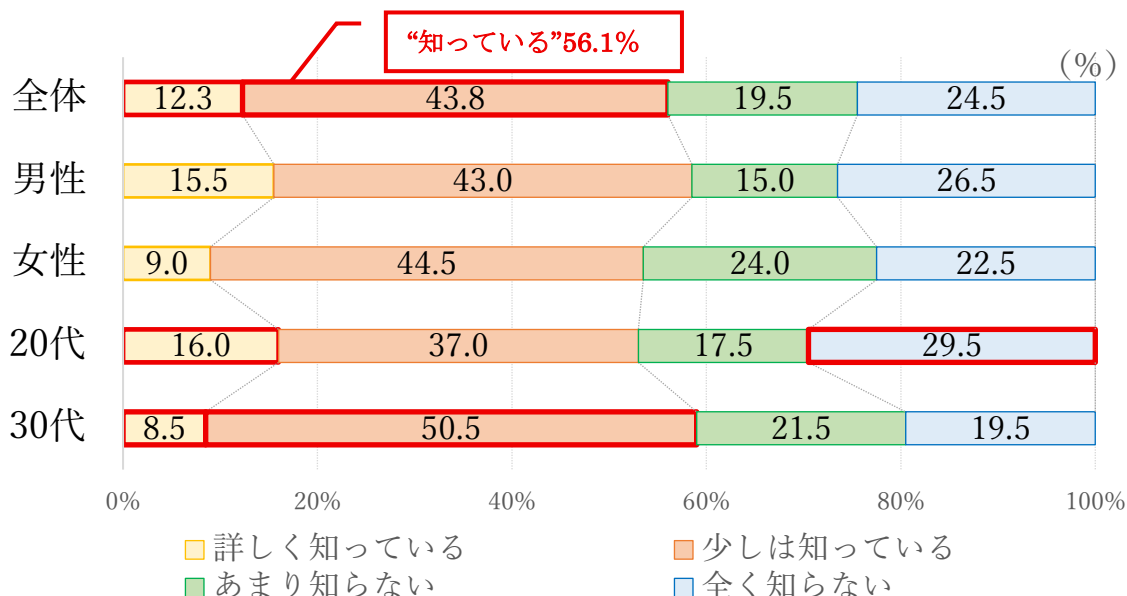
◆免許取得は約 7 割、一方、“取得予定なし”は 25.8%

<質問 10> あなたと一緒にドライブしたい有名人（1 名）は誰ですか？

◆「大谷翔平」さんと一緒にドライブに行きたい！
女性は「菊池風磨」さんと「田中樹」さんが 1 位

<質問 1> 今年 4 月に導入された自転車への交通反則通告制度（青切符）※について、あなたは認知していますか？

※道路交通法の改正により今年 4 月 1 日、16 歳以上の自転車運転者にも道路交通法違反が適用。対象違反は、信号無視、一時不停止、通行区分違反、ながらスマホなど、警察官が現認できる軽微な違反が中心。



◆ “知っている”が 56.1%で過半数、20 代は「全く知らない」が約 3 割

全体では、「少しは知っている」が 43.8%でトップとなりました。「詳しく知っている」は 12.3%で、“知っている”（※）は 56.1%と僅かながら半数を超えました。4 月施行から約 3 カ月後（調査時期）の認知度としては、決して高いとは言えないのが実態のようです。

また、“知っている”は、20 代（53.0%）よりも 30 代（59.0%）の方が僅かながら高い結果となりました。特に、20 代においては「詳しく知っている」（16.0%）が多い一方、「全く知らない」（29.5%）も多く、制度が導入されたことと合わせて、その内容をしっかりと周知していく必要があるといえます。

※：「詳しく知っている」「少しは知っている」の合計

<質問 2> 自転車への交通反則通告制度（青切符）導入後、あなたの自転車への対応の変化はありましたか？

※「以前から自転車に乗っていない」と回答した 208 人を除いた集計データ（N=192）

(%)

位	N=192	全 体	男 性	女 性	20 代	30 代
1	少し意識して乗るようになった	29.7	28.0 ①	31.5 ①	26.8 ①	32.6 ①
2	とても意識して乗るようになった	19.3	25.0 ②	13.0 ③	23.7 ②	14.7 ③
3	特に変化はない (以前から意識して乗っている)	16.1	15.0 ③	17.4 ②	16.5 ③	15.8 ②
4	自転車に乗らなくなった	14.6	10.0	19.6	14.4	14.7
5	あまり意識しないで乗っている	10.9	11.0	10.9	9.3	12.6
6	全く意識せずに乗っている	9.4	11.0	7.6	9.3	9.5

※○内数字は順位

◆「少し意識して乗るようになった」が29.7%でトップ、 約半数（49.0%）が“意識して乗るようになった”

「以前から自転車に乗っていない」（208人）を除く192人では、「少し意識して乗るようになった」（29.7%）がトップとなり、2位の「とても意識して乗るようになった」（19.3%）と合計した“意識して乗るようになった”との回答は49.0%で、約半数の人に意識の変化があったようです。

なかでも、「とても意識して乗るようになった」は、男性（25.0%）の方が女性（13.0%）よりも、また、20代（23.7%）の方が30代（14.7%）よりも高い結果となりました。また、女性では「自転車に乗らなくなった」が約2割（19.6%）を占めているのが特徴的です。

＜質問3＞ 休日の主な移動手段は何ですか？（複数回答：該当すべて）

(%)

位		全 体	男 性	女 性	20 代	30 代
1	公共交通機関（電車・バス）	68.5	61.5 ①	75.5 ①	69.5 ①	67.5 ①
2	徒歩	55.5	54.5 ②	56.5 ②	58.0 ②	53.0 ②
3	自転車	20.8	23.5 ③	18.0 ③	20.0 ③	21.5 ③
4	マイカー	14.3	16.5	12.0	15.0	13.5
5	バイク	3.8	3.5	4.0	5.0	2.5
6	レンタル電動キックボード	2.5	2.0	3.0	3.0	2.0
7	レンタカー	2.0	3.0	1.0	4.0	0.0
8	タクシー	1.5	0.5	2.5	2.0	1.0
9	カーシェアリング	0.8	1.0	0.5	1.5	0.0
	シェアサイクル		0.0	1.5	1.5	0.0
11	その他	0.5	1.0	0.0	0.0	1.0

※○内数字は順位

◆休日の移動手段は「公共交通機関（電車・バス）」「徒歩」が過半数

休日の主な移動手段は、「公共交通機関（電車・バス）」（68.5%）が圧倒的トップでした。首都圏での交通網の充実ぶりを反映した結果といえます。2位には「徒歩」（55.5%）が続き、上位2つが過半数でした。4位の「マイカー」は14.3%で、“若者のクルマ離れ”が垣間見える結果となりました。

一方、「レンタル電動キックボード」（2.5%）や「カーシェアリング」（0.8%）、「シェアサイクル」（0.8%）といった、いわゆる「モビリティシェアリングサービス」の利用はあまり高くはないようです。

男女別では、「公共交通機関」は男性（61.5%）よりも女性（75.5%）の方が高い一方、男性は「自転車」「マイカー」が女性よりも高い割合を占めました。

＜質問 4＞「モビリティシェアリングサービス」の利用者登録について、あなたが該当する項目は？
(複数回答：該当すべて)

(%)

	全 体	男 性	女 性	20 代	30 代
シェアサイクルに登録している	8.3	8.5	8.0	10.5	6.0
レンタル電動キックボードに登録している	7.0	7.0	7.0	7.5	6.5
カーシェアリングに登録している	5.0	7.0	3.0	7.0	3.0
現在登録していないが、いずれ登録したい	8.0	5.0	11.0	7.5	8.5
登録するつもりはない	75.8	77.5	74.0	72.5	79.0

■ご参考

		全 体	男 性	女 性	20 代	30 代
◆「シェアサイクル」「レンタル電動キックボード」「カーシェアリング」いずれかに“登録している”	人	65	35	30	40	25
	%	16.3	17.5	15.0	20.0	12.5
◆“登録していない”(「現在登録していないが、いずれ登録したい」＋「登録するつもりはない」)	人	335	165	170	160	175
	%	83.8	82.5	85.0	80.0	87.5

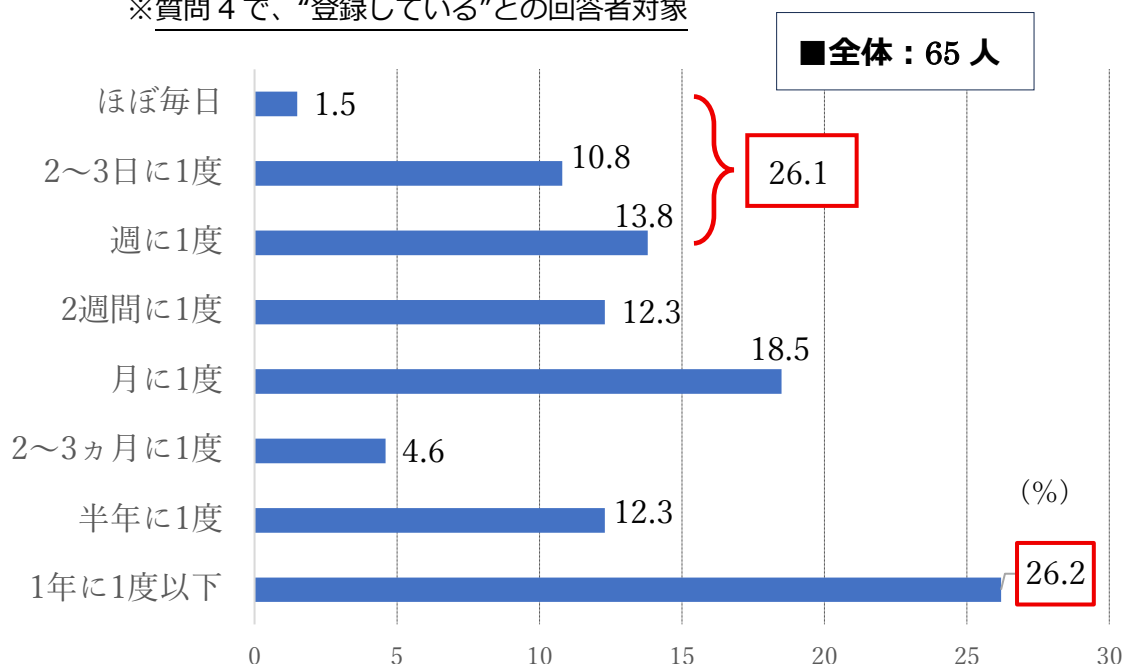
◆「モビリティシェアリングサービス」に“登録している”は 16.3%にとどまる

近年、首都圏を中心に普及している「モビリティシェアリングサービス」ですが、全体での登録実態は、シェアサイクル（8.3%）、レンタル電動キックボード（7.0%）、カーシェアリング（5.0%）と、いずれも 1 割未満にとどまりました。唯一、20 代の「シェアサイクル」が 1 割超(10.5%)であることから、今後、20 代そして次世代へと浸透していくことが期待できます。

ちなみに、3つのサービスのいずれかに“登録している”人は、全体の 16.3%（65 人）でした。

＜質問 5＞ あなたの「モビリティシェアリングサービス」の利用頻度はどの程度ですか。

※質問 4 で、“登録している”との回答者対象



◆ 利用頻度は「1 年に 1 度以下」が約 4 人に 1 人（26.2%）、
「週に 1 度以上」も約 4 人に 1 人（26.1%）

質問 4 で、いずれかのサービスに“登録している”と回答した 65 人に利用頻度を聞いてみたところ、「1 年に 1 度以下」が約 4 人に 1 人（26.2%）でトップでした。とりあえず登録だけの人や、急遽必要になった時に登録して以来、あまり日常的には利用していない人が多いのではないかと考察します。

一方、「ほぼ毎日」（1.5%）、「2～3 日に 1 度」（10.8%）、「週に 1 度」（13.8%）を合わせた“週に 1 度以上”のヘビーユーザーは、約 4 人に 1 人（計 26.1%）存在していることがわかりました。

＜質問 6＞ あなたが「モビリティシェアリングサービス」を利用する（または登録したい）主な理由は何ですか？（複数回答：3 つ以内）

※質問 4 で、“登録している”または「現在登録していないが、いずれ登録したい」の回答者対象

位		全 体	男 性	女 性	20 代	30 代
	N（人）	97	45	52	55	42
1	低コスト	29.9	40.0 ①	21.2	34.5 ①	23.8 ③
	24 時間利用可能		24.4 ③	34.6 ①	27.3 ③	33.3 ①
3	置き場が不要	27.8	24.4 ③	30.8 ③	30.9 ②	23.8 ③
4	維持・管理が不要	26.8	20.0	32.7 ②	25.5	28.6 ②
5	登録が容易	20.6	26.7 ②	15.4	18.2	23.8
	乗り捨て可能		15.6	25.0	21.8	19.0
7	行動範囲が広がる	17.5	13.3	21.2	21.8	11.9
8	出先や旅先でも活用できる	14.4	20.0	9.6	12.7	16.7
9	住まいに駐車場や駐輪場の設備や空気が無い	9.3	11.1	7.7	9.1	9.5
	時流に乗っている優越感		6.7	11.5	9.1	9.5
11	人を介さずに利用できる	6.2	4.4	7.7	5.5	7.1
12	通勤が楽 （渋滞や満員電車回避）	4.1	4.4	3.8	3.6	4.8
13	その他	1.0	2.2	0.0	0.0	2.4

※○内数字は順位

◆ 利用理由トップ 3 は「低コスト」「24 時間利用可能」「置き場が不要」

質問 4 で、いずれかのサービスに“登録している”または「現在登録していないが、いずれ登録したい」と回答した人（97 人）に聞いたところ、「低コスト」「24 時間利用可能」が同率（29.9%）でトップでした。コスパ（コストパフォーマンス）とタイパ（タイムパフォーマンス）にメリットを感じているようです。

次いで「置き場が不要」(27.8%)、「維持・管理が不要」(26.8%)と続いており、維持や管理の煩わしさ解消といった理由が上位にランクインしました。一方、「通勤が楽」は僅か 4.1%で、通勤の足としての利用は少ないようです。

男女別では、トップは男性が「低コスト」(40.0%)に対して、女性は「24 時間利用可能」(34.6%)で、2 位は男性が「登録が容易」(26.7%)に対して、女性は「維持・管理が不要」(32.7%)と男女差がみられました。また、「乗り捨て可能」や「出先や旅先でも活用できる」でも差が表れました。

世代別では、トップは 20 代が「低コスト」(34.5%)に対して、30 代は「24 時間利用可能」(33.3%)でした。2 位は 20 代が「置き場が不要」(30.9%)に対して、30 代は「維持・管理が不要」(28.6%)と世代差がみられました。以上から、20 代は安く利用できることや置き場にかかる費用を懸念したりとコスト面が重視され、30 代は時間や手間を気にせず利用できる点が重視されていると読み取れます。

＜質問 7＞あなたが「モビリティシェアリングサービス」を利用しない主な理由は何ですか？

(複数回答：3 つ以内)

※質問 4 で、「登録するつもりはない」の回答者対象

(%)

位		全 体	男 性	女 性	20 代	30 代
	N (人)	303	155	148	145	158
1	興味がない	56.8	62.6 ①	50.7 ①	57.9 ①	55.7 ①
2	公共交通機関の利用で十分	27.7	22.6 ②	33.1 ②	26.2 ②	29.1 ②
3	自分で所持している	13.9	14.2 ③	13.5	16.6 ③	11.4
4	運転が苦手・不安	11.2	3.9	18.9 ③	9.7	12.7 ③
5	交通事故へのリスク	9.9	7.1	12.8	8.3	11.4
6	ガソリン代や維持費が高い	7.3	7.7	6.8	7.6	7.0
7	流行に乗りたくない	5.3	6.5	4.1	4.1	6.3
8	登録や空き確認が面倒	5.0	3.2	6.8	2.1	7.6
	外出が少ない		4.5	5.4	6.2	3.8
—	その他	1.3	1.9	0.7	0.0	2.5

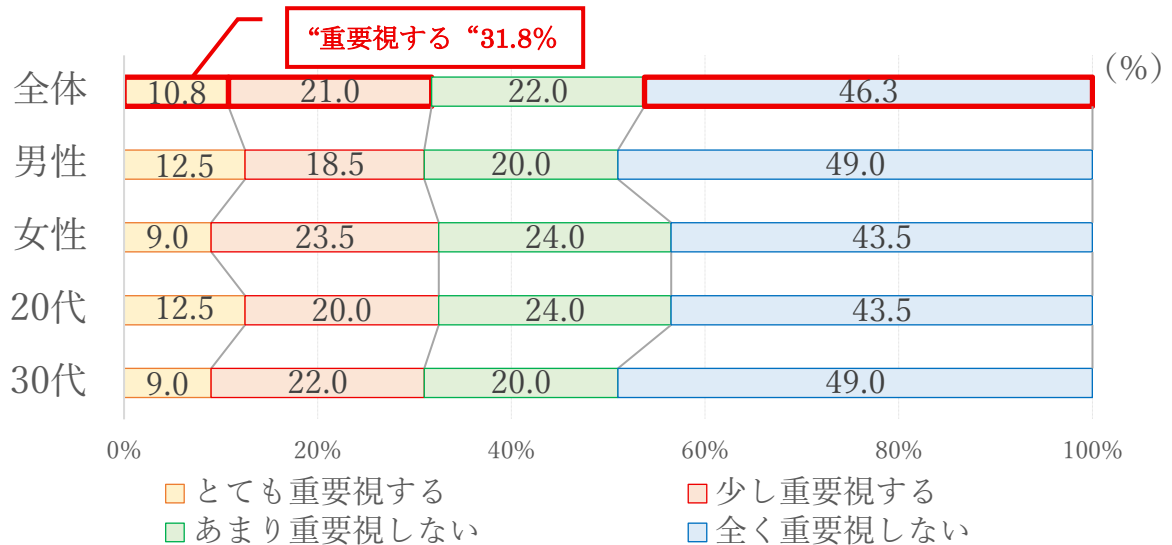
※○内数字は順位

◆ 利用しない理由は「興味がない」がトップ、 次いで「公共交通機関の利用で十分」「自分で所持している」

質問 4 で「登録するつもりはない」と回答した人 (303 人) に聞いたところ、「興味がない」(56.8%) がトップでした。2 位は「公共交通機関の利用で十分」(27.7%) であることから、質問 3 と同様に首都圏での交通網の充実ぶりを反映した結果といえます。

また、「運転が苦手・不安」は、女性 (18.9%) および 30 代 (12.7%) で 3 位にランクインしている一方、男性は僅か 3.9%と大きな差がでました。

＜質問 8＞ 仮に、あなたが新たなマンションに引っ越しをするとした場合、物件選びの際に駐輪場や駐車場等の「モビリティ置き場」の有無を重要視しますか？

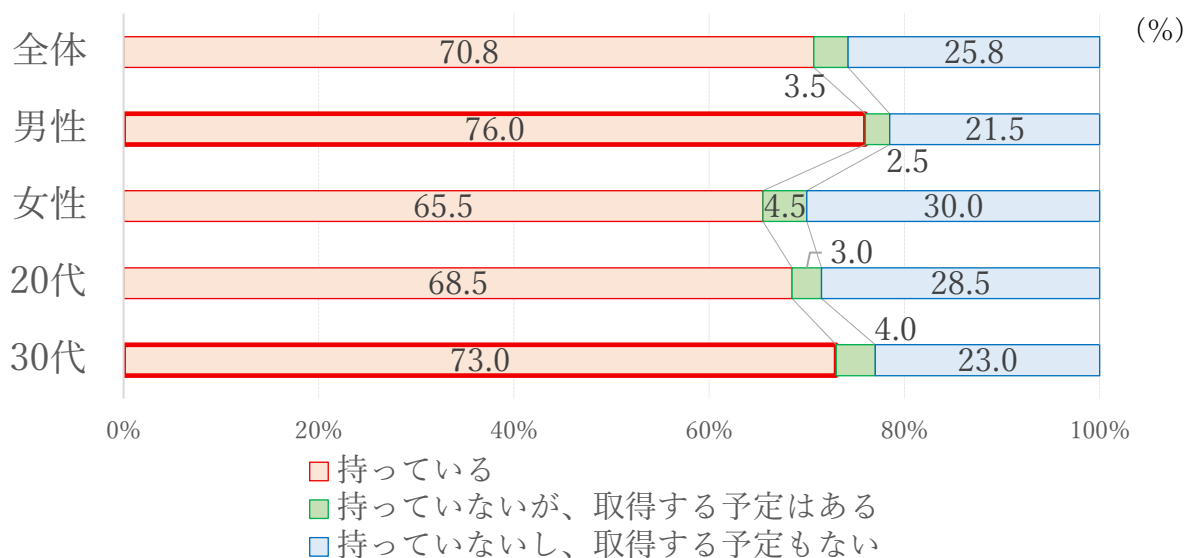


◆ 物件選びで、モビリティ置き場の有無は「全く重要視しない」が約半数
一方、「重要視」派も約 3 割と一定数存在

全体では、「全く重要視しない」が約半数（46.3%）でトップとなりました。首都圏での交通網の充実と「モビリティシェアリングサービス」の普及を反映した結果といえます。

一方、「とても重要視する」（10.8%）、「少し重要視する」（21.0%）を合わせた“重要視”派は約 3 割（計 31.8%）を占めました。物件選びでは間取りや日当たり、最寄り駅との距離などの立地条件が重要ポイントとなる中で、モビリティ置き場を“重要視する”人も一定数存在することが伺えました。

＜質問 9＞ 免許証は持っていますか？



◆ 免許取得は約 7 割、一方、“取得予定なし”は 25.8%

運転免許証を「持っている」は、全体の約 7 割（70.8%）でした。男女別では、男性の 76.0%が取得しているのに対して、女性は 65.5%と差が見られます。世代別では、30 代の 73.0%に対して、20 代では 68.5%と減少しています。

一方、免許を持っていないという回答の中で、「取得する予定もない」人がどの性別、どの世代において2～3割ほど見られることから、10代のうちに取得しなければそれ以降取得する人が少ないということが読み取れます。

＜質問 10＞ あなたと一緒にドライブしたい有名人（1名）は誰ですか？（敬称略）

■全体：TOP10

位	氏名	票
1	大谷翔平	6
2	綾瀬はるか	4
	菊池風磨	
	吉岡里帆	
	田中樹	
	有村架純	
7	永瀬廉	3
	吉沢亮	
	今田美桜	
	佐野勇斗	
	天海祐希	
	目黒蓮	
	櫻井翔	

■男性：TOP3

位	氏名	票
1	大谷翔平	5
2	吉岡里帆	4
3	有村架純	3
	今田美桜	

■女性：TOP3

位	氏名	票
1	菊池風磨	4
	田中樹	
3	永瀬廉	3
	吉沢亮	
	佐野勇斗	
	目黒蓮	

◆「大谷翔平」さんと一緒にドライブに行きたい！

女性は「菊池風磨」さんと「田中樹」さんが1位

全体のトップは「大谷翔平」さん（6票）でした。プロ野球選手としての実績は言うまでもなく、誠実そして爽やかな印象が票を集めたようです。2位は、「綾瀬はるか」さんをはじめ、マルチに活躍されている俳優・タレントがランクインしました。

男性のトップは、全体と同様に「大谷翔平」さん（5票）で、2位は俳優の「吉岡里帆」さん（4票）でした。以下も、俳優（女優）がランクインしました。

女性のトップは、同票（4票）でタレントの「菊池風磨」さんと「田中樹」さんが並びました。両名とも、会話上手で盛り上げ役といったキャラクターが評価されたようです。以下も、俳優・タレントがランクインしており、スポーツ選手はランク外でした。

以上

◆「株式会社FJネクストホールディングス」（プライム市場：8935）

事業内容：グループ会社の経営管理、不動産特定共同事業、不動産売買・賃貸
設 立：1980年7月

「都市住空間への挑戦と創造を通して、豊かな社会づくりに貢献していく。」を企業理念に、首都圏にて『ガーラマンションシリーズ』を展開しています。社会の一線で活躍する首都圏の単身者の生活を支えるインフラとして、また、安定した収益を不動産に求める方への資産運用商品として、地域や社会と一体となり、都市住空間の創造に取り組んでいます。